

# DNP

株主通信

## DNP Report Vol.72

(証券コード：7912)

**第119期 第2四半期決算のご報告**

平成24年4月1日～平成24年9月30日





株主の皆様には、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。また日頃は格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

いま、わが国の経営環境は、復興需要などの内需が牽引したものの、円高が長期化するとともに、欧州に加えて新興国でも景気の減速が鮮明になってくるなど、先行きの不透明感が急激に増しています。印刷業界においても、需要の低迷に加え、競争激化による受注単価の下落などにより、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況のなか、私たちは、国内外の事業体制を再編するとともに、グローバルやソーシャルという視点での新しい事業展開に積極的に取り組み、成長に向けて、着実な歩みを続けています。

●**情報コミュニケーション部門**では、生活者の価値観の多様化、情報通信技術の進展やグローバル化などに対応した新サービス、新事業の開発に努めています。

この8月には、クラウド事業やプラットフォームサービス事業などの拡大に向けて、顧客基盤や技術・ノウハウで強みを持つ日本ユニシス株式会社との業務提携を行いました。

また10月には、商業印刷、ICカード、セキュリティソリューションなどを担当する3つの事業部を統合した情

報ソリューション事業部が発足し、総合的なソリューションを創出していく体制としました。このほか、ハイブリッド型総合書店「honto」に関わる複数の部署を統合し、戦略立案とサービス開発の機能を強化しました。これらの統合により、間接部門の重複する人員を再配置して合理化を図るとともに、事業拡大のスピードアップを図っていきます。

●**生活・産業部門**では、包装事業について、2013年4月の稼働開始を目指して、7月にベトナム工場の建設に着手するとともに、インドネシア工場の生産設備の拡張にも取り組むなど、成長著しい東南アジアの製造拠点を増強していきます。国内の生産体制についても、一層の生産効率の向上と競争力の強化を図るため、10月に全国の包装事業の製造部門を再編して1社に統合しました。

また、誰にでも使いやすいパッケージを設計するユニバーサルデザインへの対応のほか、バイオマスプラスチックを使用した包装材、DNP独自のEBコーティングによって高い耐久性を確保した床材や壁紙、太陽電池やリチウムイオン電池向けのさまざまな部材など、環境にも配慮した製品の提供に力を入れていきます。

●**エレクトロニクス部門**では、8月に堺工場のカラーフィルター事業を堺ディスプレイプロダクト株式会社

に移管したほか、スマートフォンやタブレット端末の需要拡大が見込まれる中小型ディスプレイ向けの高精細なカラーフィルターに生産をシフトしていきます。

また、カラーフィルターなどのディスプレイ製品を扱う事業部と、半導体用フォトマスクやリードフレームなどの電子デバイスを扱う事業部を統合し、生産の効率化と収益性の向上に努めています。

これらの取り組みを推進するなかで、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は7,206億円(前年同期比4.5%減)、連結営業利益は116億円(前年同期比29.5%減)、連結経常利益は146億円(前年同期比26.0%減)、連結四半期純利益は3億円(前年同期比95.3%減)となりました。

なお、当期の中間配当金は、11月8日開催の取締役会において、1株につき16円とさせていただきます。

私たちDNPは、皆様に信頼いただけるよう、事業活動を通じて企業価値を高めていきます。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長

北島義俊

# 第2四半期決算のご報告 (平成24年4月1日から平成24年9月30日)

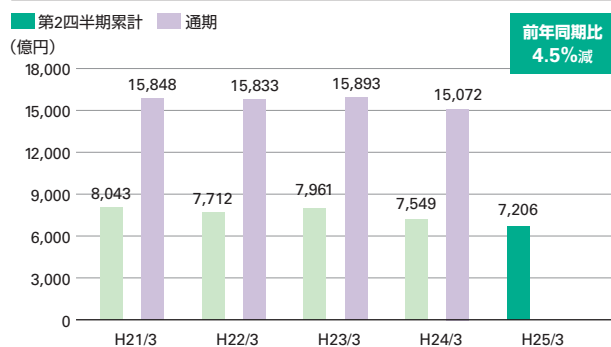
## 連結業績の概要

連結業績	当期(平成24年4月1日から平成24年9月30日) 前期(平成23年4月1日から平成23年9月30日)		
	(単位:億円)		
科目	当期	前期	増減
売上高	7,206	7,549	4.5%減
営業利益	116	164	29.5%減
経常利益	146	198	26.0%減
四半期純利益	3	84	95.3%減

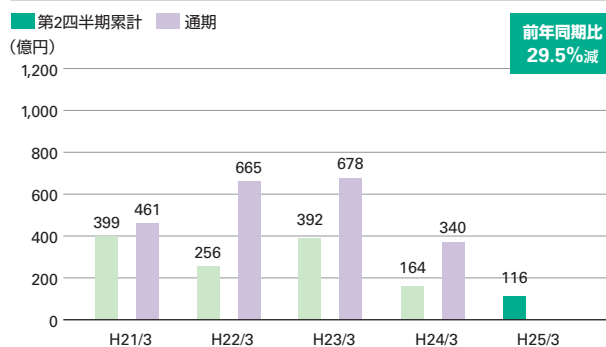
## 連結業績の予想 (平成25年3月期通期)

(単位:億円)	
売上高	15,200
営業利益	380
経常利益	390
当期純利益	120

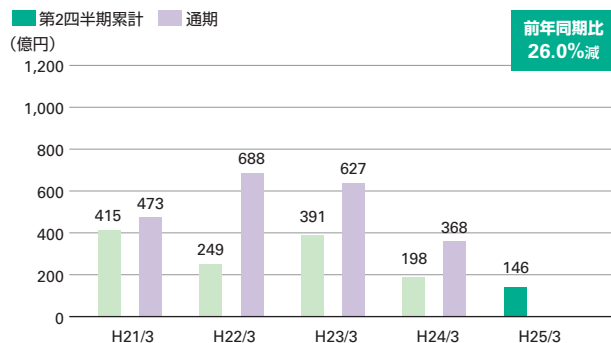
### 連結売上高



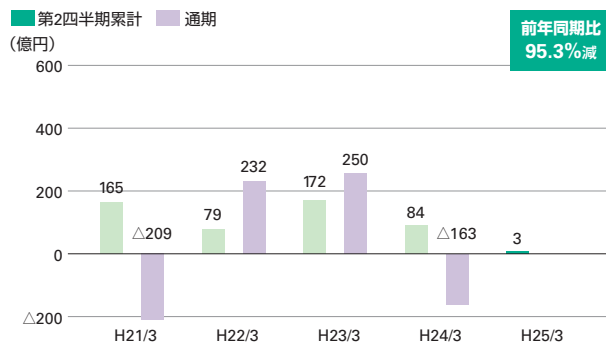
### 連結営業利益



### 連結経常利益



### 連結当期(四半期)純利益



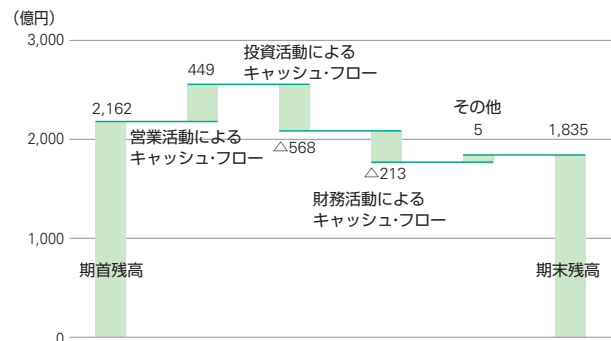
## 連結財務諸表 (平成25年3月期第2四半期)

### 連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)		
科目	当第2四半期 連結会計期間末	前連結会計 年度末
<b>資産の部</b>	<b>1,546,265</b>	<b>1,608,806</b>
流動資産	721,692	782,956
固定資産	824,573	824,959
繰延資産	—	889
<b>負債の部</b>	<b>641,403</b>	<b>694,593</b>
流動負債	452,819	443,179
固定負債	188,584	251,413
<b>純資産の部</b>	<b>904,862</b>	<b>914,213</b>
株主資本	878,706	888,649
その他の包括利益累計額	△18,130	△17,420
新株予約権	16	16
少数株主持分	44,269	42,967

### 連結キャッシュ・フロー(要約)

現金及び現金同等物の推移(平成24年4月1日から平成24年9月30日)



### 連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)		
科目	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
<b>売上高</b>	<b>720,684</b>	<b>754,921</b>
売上原価	596,330	623,712
販売費及び一般管理費	112,738	114,726
<b>営業利益</b>	<b>11,614</b>	<b>16,481</b>
営業外収益	8,341	7,668
営業外費用	5,282	4,320
<b>経常利益</b>	<b>14,673</b>	<b>19,829</b>
特別利益	235	183
特別損失	10,477	4,062
法人税等合計	4,146	7,045
<b>少数株主損益調整前 四半期純利益</b>	<b>285</b>	<b>8,905</b>
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△111	483
<b>四半期純利益</b>	<b>396</b>	<b>8,422</b>

### 連結包括利益計算書(要約)

(単位:百万円)		
科目	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
少数株主損益調整前 四半期純利益	285	8,905
その他の包括利益	△1,075	△3,549
<b>四半期包括利益</b>	<b>△790</b>	<b>5,356</b>
(内訳)親会社株主に係る四半期包括利益	△313	4,842
少数株主に係る四半期包括利益	△477	513

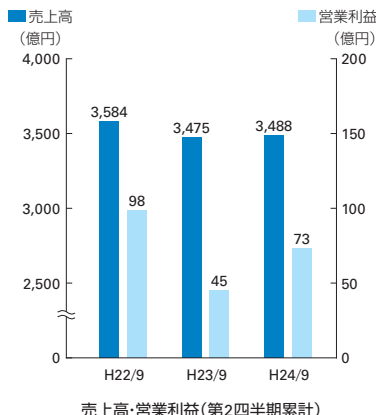
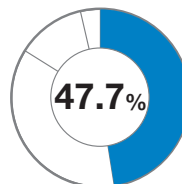
## 部門別営業報告

### 情報コミュニケーション部門

### Information Communication

売上高 3,488億円 (前年同期比 0.4%増)  
 営業利益 73億円 (前年同期比61.1%増)

売上高構成比



出版印刷関連は、出版市場の低迷が続くなか、雑誌は減少したものの、一貫製造ラインの増強が寄与して書籍が増加し、前年を上回りました。商業印刷関連は、積極的な営業活動によりカタログ、POPなどが増加し、前年を上回りました。ビジネスフォーム関連は、通信系や電子マネー向けのICカードなどが好調に推移しましたが、パーソナルメールなどのデータ入力から印刷・発送までの業務を行うIPS (Information Processing Services) などが減少し、前年並みとなりました。教育・出版流通事業は、書店市場の厳しい状況が続くなか、店頭におけるプロモーションの実施などの販促活動を強化し、前年並みとなりました。



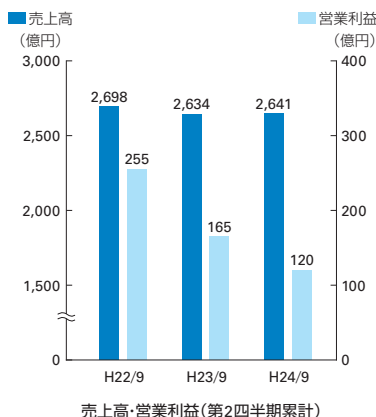
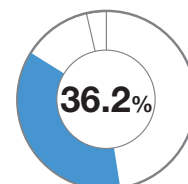
ICカード リーダー・ライター

### 生活・産業部門

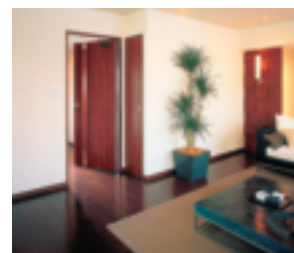
### Lifestyle and Industrial Supplies

売上高 2,641億円 (前年同期比 0.3%増)  
 営業利益 120億円 (前年同期比27.4%減)

売上高構成比



包装関連は、紙器、軟包装材などが減少しましたが、ペットボトル用無菌充填システムなどが増加し、前年を上回りました。住空間マテリアル関連は、DNP独自のEB (Electron Beam) コーティング技術を活かした環境配慮製品などが増加し、引き続き順調に推移しました。産業資材関連は、リチウムイオン電池用ソフトパックや太陽電池用部材などのエネルギー関連製品が増加しましたが、薄型ディスプレイ用反射防止フィルムが減少し、前年を下回りました。



住宅用建材製品

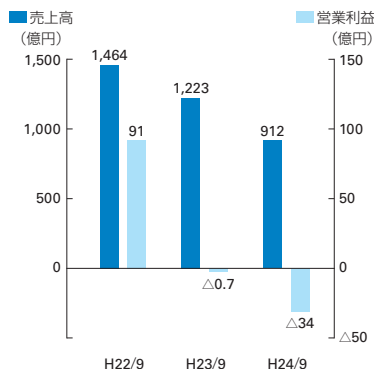
## エレクトロニクス部門

## Electronics

売上高	912億円（前年同期比25.5%減）
営業損失	34億円（前年同期は7千万円の営業損失）

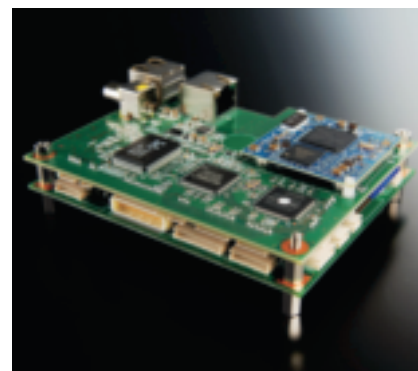
売上高構成比

12.5%



売上高・営業利益(第2四半期累計)

液晶カラーフィルターは、スマートフォンやタブレット端末向けの中小型品が好調に推移したものの、大型液晶テレビ需要が減少したことに加え、8月に堺工場のカラーフィルター事業を堺ディスプレイプロダクト(株)へ移管したことにより、前年を下回りました。電子デバイス関連は、半導体市場の厳しい状況が続くなか、モジュール製品が増加したものの、フォトマスクが減少し、前年を下回りました。



監視カメラ用モジュール

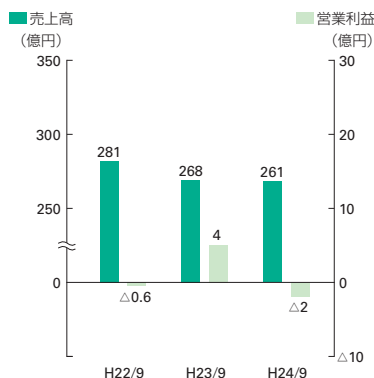
## 清涼飲料部門

## Beverages

売上高	261億円（前年同期比2.5%減）
営業損失	2億円（前年同期は4億円の営業利益）

売上高構成比

3.6%



売上高・営業利益(第2四半期累計)

個人消費が低調に推移し、販売競争が激化する厳しい状況のなかで、主力商品の「コカ・コーラ」「ジョージア」のほか、国内最軽量ボトル「ecoる ボトル しぼる」を使ったミネラルウォーター「い・ろ・は・す」の販売拡大に努めました。その結果、ティー飲料、ミネラルウォーターは増加しましたが、炭酸飲料が減少しました。



清涼飲料

## ❖さらなる成長に向けた当期の主な取り組み(第2四半期まで)

### ●情報コミュニケーション部門

#### 戦略的パートナーとして日本ユニシスと業務提携

8月にDNPは、日本ユニシス(株)と業務提携等に関する契約を締結するとともに、三井物産(株)から日本ユニシスの普通株式(発行済株式総数の18.90%、議決権割合22.09%)を譲り受けました。

DNPと日本ユニシスは、クラウド事業、新プラットフォームサービス事業、マーケティング・販売での連携を強化し、戦略的パートナーとして新たなビジネスを積極的に展開していきます。

### ●生活・産業部門

#### 包装事業におけるグローバル展開の強化と国内生産体制の再編

2013年4月稼働開始を目指して建設中のベトナム工場に加え、既存のインドネシア工場の増強にも着手しており、成長著しい東南アジアを中心に、包装事業の積極的なグローバル展開を図っていきます。また、国内については、全国に展開する包装事業の製造部門を再編し、BCP(事業継続計画)にも対応した最適な体制を構築するとともに、コスト構造改革に取り組んでいきます。



ベトナム工場完成予想図

### ●エレクトロニクス部門

#### 堺工場の液晶カラーフィルター事業を譲渡し、成長する中小型パネル向けに集中

DNPは8月11日、堺工場の液晶カラーフィルター事業を堺ディスプレイプロダクト(株)(SDP)に譲渡しました。これによりSDPは、カラーフィルターからパネル生産まで一貫した大型液晶ディスプレイ事業に集中することとなりました。

今後DNPは、スマートフォンやタブレット端末などの、中小型液晶パネル向けの高精細カラーフィルターに注力するとともに、有機ELやタッチパネルに対応した新製品開発なども進めていきます。



## DNP IMSネザーランド(DNP IMS Netherlands B.V.)

グローバルな開発・製造・販売の一貫体制を活かして  
インクリボン関連の世界シェア拡大へ



DNP IMS Netherlands B.V.の社屋



工場内の製造現場

DNP IMSネザーランドは2008年にソニーケミカル & インフォメーションデバイス社からバーコード用モノクロインクリボン(溶融型熱転写記録材)事業を譲り受け、設立されました。

DNPは印刷で培ったコーティング技術などを応用し、1980年代に溶融型と昇華型という2つの熱転写記録材を製品開発し、量産を開始しました。その後、グローバルな開発・製造・販売の体制を構築して、ワールドワイドにシェア拡大を図っています。

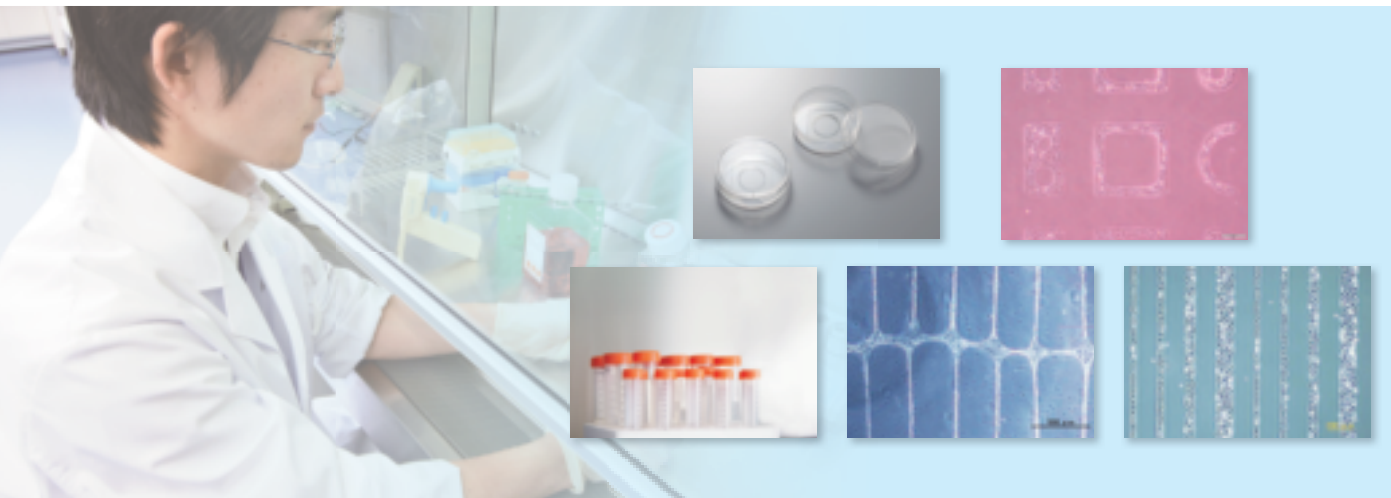
DNP IMSネザーランドは、バーコード関連の需要拡大に対応して溶融型モノクロインクリボンに注力しているほか、カードプリンター用のインクリボン(溶融型及び昇華型)も手がけ、法人税が25%と低いオラ

ンドの経営環境を活かしながら業績拡大に取り組んでいます。従業員は世界13カ国の人々で構成され、得意先は33カ国にも及びます。また、ワークシェアリングの導入など働きやすい職場環境づくりを進めています。

### 会社概要

名称：DNP IMS Netherlands B.V.  
所在地：オランダ バドーフフェルプ  
(アムステルダム近郊)  
設立：2008年  
資本金：1,000千ユーロ  
社員数：63名

2回にわたり、DNPの重要な開発テーマであるライフサイエンス分野の取り組みについて紹介します。



### ❖ 強みである印刷技術と情報技術を活かした医薬・医療関連の新事業開発の取り組み

いま、日本を含む多くの国で高齢化が進んでおり、医薬や医療における課題の解決と、Quality of Life (生活の質) の向上が求められています。DNPは医薬・医療関連とその周辺の事業領域を「ライフサイエンス分野」と位置づけ、印刷技術や情報技術の強みを活かしたビジネスの創出に注力しています。

DNPは、30年前から当分野に取り組んでおり、1985年には“酵素をインキ化する技術”と“微細なパターンを精密に転写する技術”を応用して、尿検査紙や妊娠検査キットなどを製品化しました。

2004年には東京医科歯科大学と共同で、印刷の製版・さっばん刷版技術を応用し、基材上に毛細血管をパターン化することに成功しています。その成果を踏まえ、2008年に任意の形

状やサイズで細胞を培養できる基板「CytoGraph (サイトグラフ)」を世界で初めて製品化しました。

また、東京女子医科大学が開発し、再生医療への実用化の期待が高まっている細胞シートにおいても、同大学を中心とするプロジェクトに積極的に参画し、その培養基材の量産化などに取り組んでいます。

一方でDNPは、印刷の基幹技術として、カラーマネジメントや3次元画像処理、データベースシステムなどの情報技術も培ってきました。これらの技術は再生医療の細胞評価や診断支援分野など幅広い領域に活かされています。

DNPはライフサイエンス分野を、新しい事業の柱として成長させていきます。

## ❖ 画像処理技術を応用した細胞トラッキング技術をiPS細胞の評価に活用

山中伸弥教授のノーベル賞受賞により、あらためて同教授が開発したiPS細胞(人工多能性幹細胞)が注目を集めています。iPS細胞は、体内のさまざまな細胞に分化できることから、これを再生医療へ応用しようという研究が、国内外で急ピッチに進められています。

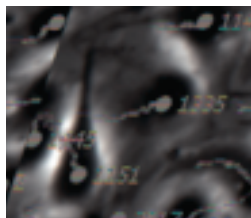
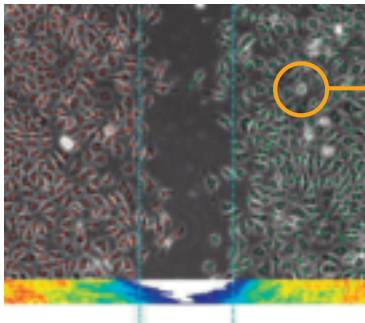
iPS細胞を応用した細胞医療を新しい治療法として確立し、広く普及させていく際の課題として、細胞を安全かつ均一に増殖させる必要があります。細胞が不均一に増殖すると、細胞組織に欠陥が生じたりするため移植することができません。移植用の細胞組織を作るためには、細胞を育てる環境を整えることに加え、細胞が均一に育っていることを検査する新たな評価方法が重要となります。

細胞は、分裂を繰り返すことで組織を形成します。その細胞一つ一つの動きを追跡(トラッキング)する

ことにより細胞組織の生育状況を把握することができます。直径数ミクロンという小さな細胞をトラッキングすることは非常に困難なことです。DNPは、一つ一つの細胞の動きや分裂を顕微鏡画像から解析して、細胞のみを精密にトラッキングする独自の画像処理技術を米国カーネギーメロン大学と共同で開発しました。

この技術を使って、眼球の網膜の再生医療のために、大阪大学と共同研究しています。将来、網膜細胞をはじめとした再生医療における品質評価プロセスに応用されることが期待されています。

医療における今日の課題を解決するために、新しい有望な技術として期待されている再生医療。DNPが開発した技術が、その実現に向け、一役買っているのです。



個々の細胞の動きをトラッキングして培養状況をチェックする画像処理技術  
(左: 左右から中心に向けて細胞が培養される様子、右: 拡大図 一つ一つの細胞を識別している様子)

## ❏ [2012年8月8日発表]太陽電池モジュールの変換効率を向上させる新製品の量産を開始

DNPは、太陽電池モジュールの変換効率向上のニーズに対応して、新たな太陽電池用部材3種を開発し、量産を可能にしました。

太陽電池モジュールは変換効率の向上にともなって高電圧となります。新製品の封止材『CVFシリーズ』は、高電圧下での電流の漏れを抑え、出力の低下を大幅に軽減します。また、バックシート『NRシリーズ』は、絶縁性を従来の数倍に向上させて高電圧に対応したほか、高温・高湿度の環境下の長期信頼性評価で従来の10倍以上の耐久性を示しました。

裏面電極型の太陽電池に対応した『バスラインシート』は、従来は表裏両面にあった電極の回路パターンを裏面だけに集約し、表面の受光面積を増やすことで発電効率を高める新製品です。



裏面電極用「バスラインシート」

## ❏ [2012年9月10日発表]エリア限定のコンテンツ配信サービス『チェックインマガジン』を開始

DNPは、施設や店舗などの限定されたエリア内で、その場所に適したコンテンツをスマートフォンやタブレット端末などに配信するサービス『チェックインマガジン』を開始しました。

生活者は、iOSまたはAndroidに対応した端末に閲覧用アプリをダウンロードするだけで、このサービスを利用できます。施設や店舗のコンセプトや立地、配信する時間帯に合わせてコンテンツを変えることができ、テーマに合った雑誌の記事のほか、施設や店舗のクーポンなども配信できます。

DNPは、当サービスを全日本空輸(株)と日本ユニシス(株)が伊丹空港のANAラウンジに設置しているデジタルコンテンツコーナーに提供しました。今後は飛

行機や電車、カフェやスタジアム、ホテルなどにも展開し、その“場”に最適なエリア限定のコンテンツ配信サービスを推進していきます。



『チェックインマガジン』TOP画面イメージ

## ❏ [2012年10月5日発表]世界的な社会的責任投資(SRI)の指標に12年連続で選定

DNPは、企業の業績に加え、企業が果たす社会的責任(CSR)も基準にした社会的責任投資(SRI)の世界的な指標「Dow Jones Sustainability World Index (DJSI World)」と「FTSE4Good Global Index」の構成銘柄として、継続して選ばれました。

DJSI Worldは、世界の約2,500社から340社(うち日本企業20社)を選定しており、DNPは8年連続で構成銘柄に組み込まれました。またFTSE4Good Global Indexでは、世界の約2,400社から736社(うち日本企業181社)が選ばれており、この指標がスタートした

2001年から12年連続でDNPは構成銘柄として選ばれています。

DNPはこのほか「ETHIBEL Investment Register」と「モーニングスター社会的責任投資株価指数」にも選定されおり、代表的な4つのSRI指標すべてに組み込まれている数少ない日本企業の1社です。DNPは引き続き積極的にCSR活動に取り組み、「社会から信頼される企業」として持続的な成長を実現していきます。



## ❏ ディーエヌペンギン 「DNPenguin卓上カレンダー」プレゼントのお知らせ

このたび、2013年「DNPenguin卓上カレンダー」を作成しました。DNPenguinは、広告をはじめ、ウェブサイトや展示会などでDNPの製品やサービスをわかりやすく紹介する、親しみやすいキャラクターです。

この卓上カレンダーを株主の皆様にはプレゼントいたします。ご希望の方は、同封のハガキに必要な事項をご記入のうえ、ご返送ください。

**お申込み締切** 2012年12月27日(木)当日消印有効

**お問い合わせ** 「DNPenguin卓上カレンダー」プレゼント事務局

電話：0120-300-054(フリーダイヤル)

開設期間：2012年12月7日～2013年2月22日

(土・日・祝日除く10時～17時受付)

※2012年12月29日～2013年1月6日は年末年始休暇



### ＜お申込み情報の取扱いについて＞

ハガキにご記入いただきました情報は、「DNPenguin卓上カレンダー」のお届けに利用するとともに、2013年度以降の株主総会に関するお電話でのご案内に利用させていただくことがございます。なお、この目的の実施のためにDNPのグループ会社に業務を委託する以外には、第三者へのお申込み情報の提供は行いません。DNPの「個人情報保護方針」につきましては、DNPウェブサイトをご覧ください。

大日本印刷株式会社 個人情報保護方針URL

<http://www.dnp.co.jp/about/privacy.html>

大日本印刷株式会社 広報室

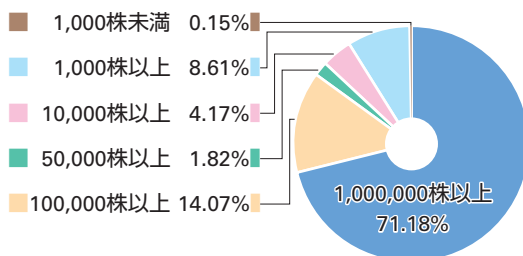
個人情報取扱責任者 広報室長

## 株式の状況

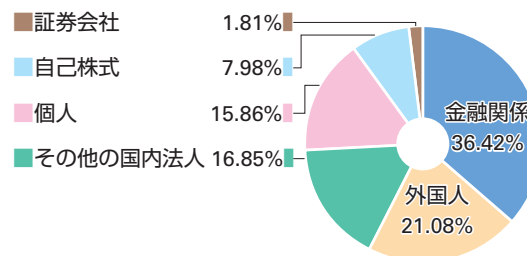
発行済株式総数  
700,480,693株  
(自己株式  
55,914,199株を含む)

株主数  
37,877人

### 所有数別分布状況



### 所有者別分布状況

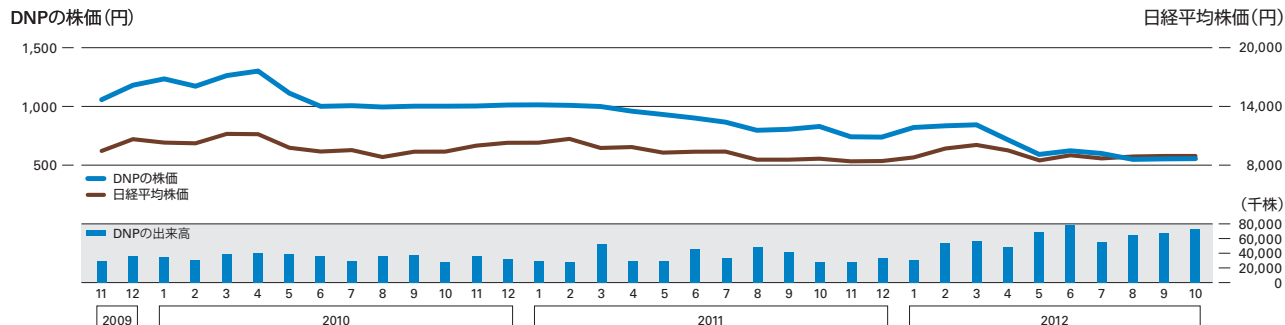


## 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	38,972	6.05
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	32,692	5.07
第一生命保険株式会社	30,882	4.79
株式会社みずほコーポレート銀行	15,242	2.36
ザ バンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリ バンク フォー デポジタリ レシート ホルダーズ	14,969	2.32
自社従業員持株会	14,480	2.25
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS	13,166	2.04
株式会社みずほ銀行	12,471	1.93
日本生命保険相互会社	12,029	1.87
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225	7,493	1.16

(注)1.持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除した株式数(644,566,494株)を基準に算出しております。  
2.自己株式は、上記大株主からは除外しております。

## 株価 / 出来高の推移



## 会社概要

### 商号

大日本印刷株式会社

### 英文社名

Dai Nippon Printing Co., Ltd.

### 本社所在地および連絡先

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号  
 電話 03 (3266) 2111 ダイヤルイン案内台  
 URL <http://www.dnp.co.jp/>

### 創業

明治9年(1876年)10月9日

### 設立年月日

明治27年(1894年)1月19日

### 資本金

1,144億6,476万円

## CONTENTS

株主の皆様へ	2
第2四半期決算のご報告	4
世界のDNPグループ④ DNP IMSネザーランド	9
“フォーカスDNP”シリーズ 【第12回:ライフサイエンス分野①】	10
ピックアップニュース	12
株式情報	14
会社情報	15



表紙：DNPのライフサイエンス分野の事業開発の取り組み(イメージ)

※当株主通信は、DNPの事業ビジョンや業績に関する情報の提供を目的としています。記載された意見および予測は、作成時点でのDNPの判断に基づいたもので、これらの情報の完全性を保証するものではありません。

※記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	6月
上記総会における議決権の基準日	3月31日 その他必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。
剰余金の配当基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行います。(当社のウェブサイト <a href="http://www.dnp.co.jp/ir/">http://www.dnp.co.jp/ir/</a> ) ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

## 株式事務に関するご案内

### 1. 住所変更、配当金受取方法の変更等のお問い合わせ先、お手続き窓口

- 一般口座(証券会社の口座)にある株式  
株主様が口座を開設されている証券会社の本店
- 特別口座(みずほ信託銀行の口座)にある株式  
(お問い合わせ先) みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)  
(お手続き窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店  
みずほインベスターズ証券(注) 本店および全国各支店  
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)

### 2. 未払配当金のお支払窓口(払渡し期間経過後の配当金領収証によるお受け取り)

- (お支払窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店  
みずほ銀行 本店および全国各支店  
(取次所) みずほインベスターズ証券(注) 本店および全国各支店  
(注)みずほインベスターズ証券は、平成25年1月4日以降はみずほ証券となります。

### ※ 単元未満株式に関するお知らせ

1,000株に満たない株式(単元未満株式)を所有されている株主様が、当社に対しその単元未満株式と合わせて1単元(1,000株)になる数の株式を買増請求できる「単元未満株式の買増制度」を導入しております。また、単元未満株式の買取請求につきましても、お取り扱いしております。

- [DNP Report](#) に関するお問い合わせ先

**大日本印刷株式会社** 広報室 〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号  
TEL : 03-3266-2111 (ダイヤルイン案内台)



グリーン電力を導入しました  
(年間115万kWh)。この報告書を印刷する際の電力(400kWh)は、自然エネルギーでまかなわれています。



CO<sub>2</sub>の「見える化」  
カーボンフットプリント  
<http://www.cfp-japan.jp>  
検証番号:CV-BS01-030



この印刷物は、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により色覚の個人差を問わず、多くの方に見やすく配慮されたデザイン(カラーユニバーサルデザイン)として認証されました。